

(4) 廃用後用

Barthel index

病院名： _____ 検査者名： _____

日付： 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 (廃用症候群と認めた日付を記載)

患者氏名： _____ 様 年齢 () 歳 性別： 男 ・ 女

	項目	点数	記述	基準	備考
1	食事	10	自立	自力で食べることができる。 自助具は良い。時間内に食べ終える。	
		5	部分介助	介助・監視が必要。	
2	椅子とベッド間の移動	15	自立	全ての動作が可能。	
		10	最小限の介助	安全のために指示や監視が必要。	
		5	部分介助	移乗には介助が必要。	
3	整容	5	自立	手・顔洗い、整髪、歯磨き、髭剃り、 女性は化粧	
4	トイレ動作	10	自立	手すり使用は可。	
		5	部分介助	バランス不安定。 トイレトペーパー使用の介助。	
5	入浴	5	自立		
6	移動	15	自立	45m 以上歩ける (杖、義肢、歩行器の使用可能)。装具の脱着可能。	
		10	部分介助	わずかの介助、監視があれば 45m 以上歩ける。	
		5	車椅子使用	自力で車椅子の操作可能。45m 以上。 患者が歩行可能なときには採点しない。	
7	階段昇降	10	自立	手すり、杖、クラッチの使用可。 杖をもったままの昇降も可能。	
		5	部分介助	介助・監視が必要。	
8	更衣	10	自立	実用性があればよい	
		5	部分介助	作業の半分までは自分で可能。 時々失敗する。	
9	排便自制	10	自立	失敗がない。脊損患者の排便訓練後の座薬 や浣腸の使用を含む。	
		5	部分介助	座薬や浣腸の使用の際の介助。 時々失敗する。	
10	排尿自制	10	自立	昼夜とも可能。脊損患者の場合、集尿バ ッグ等の装着・清掃管理が自立。	
		5	部分介助	時々失敗する。間に合わなかったりする。	
合計			点		